

人流データを活用した地域の活性化実証 「Hiroshima City Dashboard」

令和5年11月8日

広島市企画総務局行政経営部情報政策課

田尾 正

02. 広島市DX推進計画の体系

■ 基本理念の下、行政のデジタル化の推進、地域のデジタル化の推進を柱として、11の施策に取り組んでいる。



03. 人流データを活用した地域の活性化実証の概要

- 広島市DX推進計画に基づき、地域全体でデータを活用できるまちづくりを目指し、そのモデルケースとして、令和4年12月より、中心市街地（紙屋町・八丁堀周辺）の人流データを分かりやすく可視化したサービス「Hiroshima City Dashboard」をインターネットにて公開している。
- 誰もが気軽に人流データを活用できる環境を構築することで、様々な開発が進んでいる中心市街地の魅力をより高める取組を進めることにより、地域の活性化を図ることを目的としている。



≡ MENU

Hiroshima City Dashboard

広島のをまちをデータでみる

広島市では、多様なデータを地域全体で共有し、利活用できるまちづくりを目指しています。

その取り組みの一つとして、様々な開発が進んでいる中心市街地の人流を可視化するダッシュボードを構築しました。

1 通行状況を見る

2 滞在状況を見る



03. 人流データを活用した地域の活性化実証の概要

- 本サービスの対象地域は、中心市街地のうち商業施設やオフィスが集中した紙屋町・八丁堀エリアとしている。
- センサー、特定のスマホアプリから通行量、回遊行動、滞在状況、属性（性別、年代、居住地）に関するデータを取得している。

サービスの対象地域と人流の取得方法



アプリでFree-wifi等に接続した際にGPS等の位置情報を取得

人感センサー



街中にある無数のWifiスポットに自動的に接続され、連続的に位置情報が取得される

Wifiアクセスデータ



04.ダッシュボード機能（通行量View①）

- 通行量、滞在状況等の複数の情報をまとめて表示するダッシュボードの機能により、視覚的に理解し易いよう工夫している。
- ダッシュボード機能は次のとおり。

ダッシュボード機能（通行量、将来の通行量）



05.ダッシュボード機能（通行量View②）

ダッシュボード機能（日別、時間別の変化）



06.ダッシュボード機能（通行量View③）

ダッシュボード機能（街路別の回遊状況）

2023/01/17更新

通行量View

まちなかにおける街路の通行量をみることができるダッシュボードです。

通行量を測るセンサー(デジタルサイネージ)などの情報をもとに、まちなかの通行量を"みえる化"しています。地図をクリックして、いろいろな場所の通行量を調べることができます。

条件設定

年月

単体区分

通行量マップ

少  多



Page1 通行量を見る Page2 地図を見る Page3 どこから来たかを見る

通行しているひとはどこからくる?(どこに行く?)

22年12月

対象: 本通 13

0.0%  100.0%



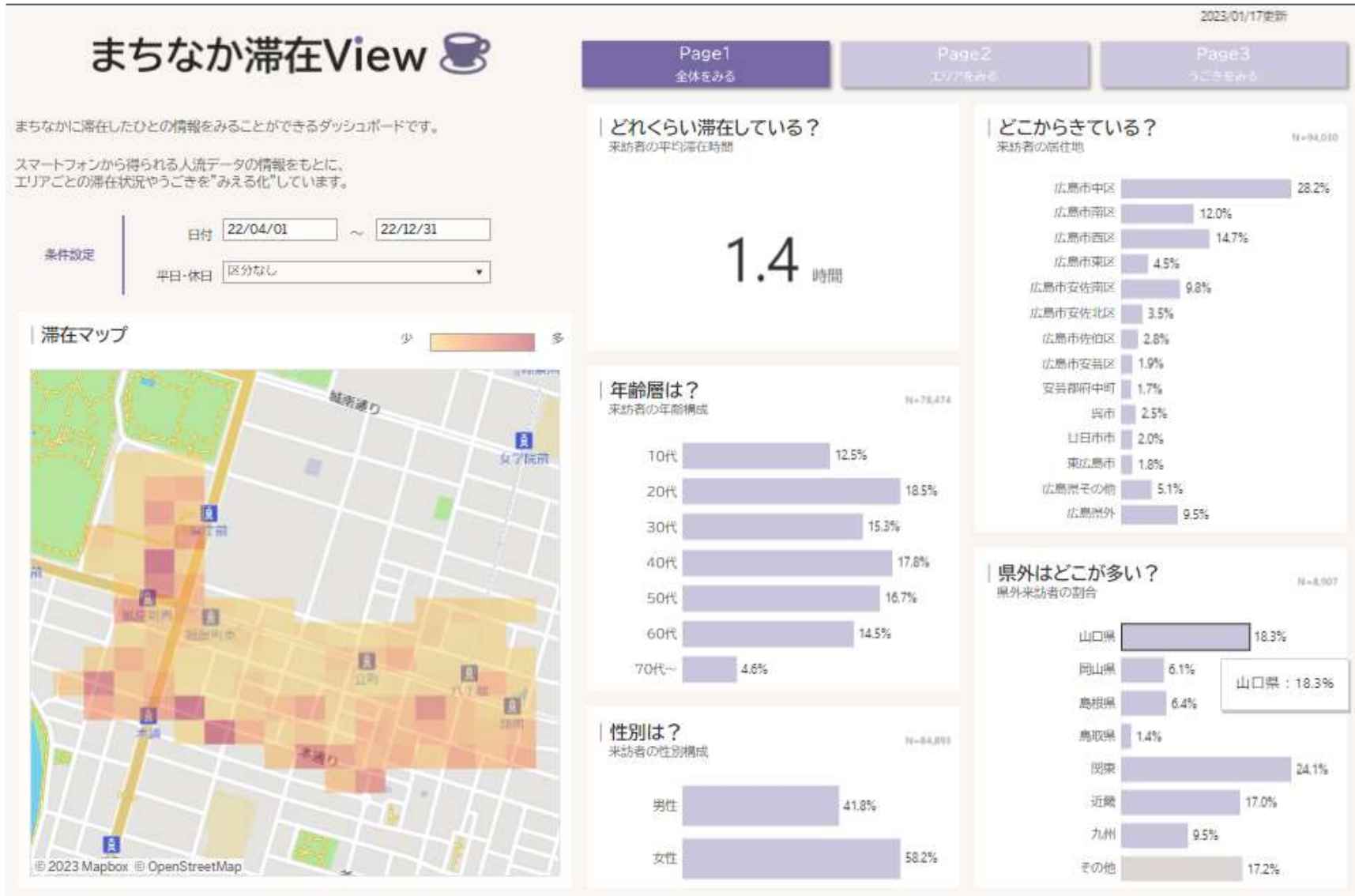
© 2023 Mapbox © OpenStreetMap

データのみかた

マップで指定した街路の通行量を100としたとき、そのうち何%のひが通った街路であるかを表しています。たとえば、「相生通り」を通ったひとのうち、●%が「本通り」からきている(「本通り」に行く)といった情報がわかります。

07.ダッシュボード機能（まちなか滞在View①）

ダッシュボード機能（滞在状況）



08.ダッシュボード機能（まちなか滞在View②）

ダッシュボード機能（エリア別の滞在状況）

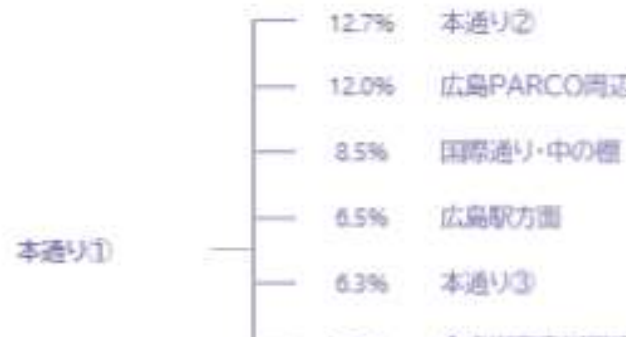


09.ダッシュボード機能（まちなか滞在View③）

ダッシュボード機能（エリア別の回遊状況）

滞在者はどこからくる？どこに行く？【直前・直後】
(そのエリアの来訪者が直前/直後にいた場所)

● in < out
● out < in



滞在者はどこからくる？どこに行く？【当日】
(そのエリアの来訪者が当日に行ったすべての場所)

少 多



10.ダッシュボード機能（データダウンロード①）

ダッシュボード機能（通行量データダウンロード）

データダウンロード

2023/10/10更新

①通行
「通行量View」でご覧になったデジタルサイネージ(実測値)箇所について、時間帯別通行量(月別・平休別)データのダウンロードが可能です。

②滞在
「まちなか滞在View」でご覧になった10ゾーンごとの時間帯、年齢、性別、滞在時間別の内訳(月別・平休別)データのダウンロードが可能です。

通行量データ まちなか滞在データ

デジタルサイネージ選択 期間選択 R5.9 ▼



© 2023 Mapbox © OpenStreetMap

通行量テーブル

[Download](#)

選択箇所	年月	平休	通行時間帯	通行量(人/日)
			11時台	668
			12時台	805
			13時台	1,061
			14時台	914
			15時台	868
			16時台	914
			17時台	1,042
			18時台	1,352
			19時台	1,385
			20時台	953
			21時台	674
			22時台	416
		休日	6時台	210
		休日	7時台	88
		休日	8時台	166
		休日	9時台	364
		休日	10時台	553
		休日	11時台	767
		休日	12時台	987
		休日	13時台	1,116
		休日	14時台	1,221
		休日	15時台	1,234
		休日	16時台	1,259
		休日	17時台	1,185
		休日	18時台	1,162
		休日	19時台	1,045
		休日	20時台	823
		休日	21時台	621
		休日	22時台	341

11.ダッシュボード機能（データダウンロード②）

ダッシュボード機能（まちなか滞在データダウンロード）

データダウンロード

2023/10/10更新

①通行
「通行量View」でご覧になったデジタルサイネージ(表測値)箇所について、時間帯別通行量(月別・平休別)データのダウンロードが可能です。

②滞在
「まちなか滞在View」でご覧になった10ゾーンごとの時間帯、年齢、性別、滞在時間別の内訳(月別・平休別)データのダウンロードが可能です。

通行量データ | **まちなか滞在データ**

エリア選択 期間選択 R5.9



滞存量テーブル

追加指標の選択 時間帯 Download

選択エリア	年月	平休	追加指標	滞在割合			
まごう広島・バセーラ	R5.9	平日	6時台	2.2%			
			7時台	4.8%			
			8時台	7.4%			
			9時台	13.2%			
			10時台	16.7%			
			11時台	19.2%			
			12時台	24.5%			
			13時台	26.6%			
			14時台	25.1%			
			15時台	24.2%			
			16時台	22.2%			
			17時台	17.6%			
			18時台	15.5%			
			19時台	12.0%			
			20時台	7.6%			
			21時台	4.5%			
			22時台	3.4%			
			休日			6時台	1.3%
						7時台	2.6%
						8時台	4.5%
						9時台	8.4%
						10時台	17.6%
11時台	22.9%						
12時台	24.3%						
13時台	22.7%						
14時台	25.4%						
15時台	25.0%						
16時台	23.4%						
17時台	17.6%						

12. データ活用事例の紹介

- 本サービスの対象地域である紙屋町・八丁堀エリアにおいては、まちづくり団体「カミハチキテル」が空地や街路空間を活用したにぎわいづくりに取り組んでいる。
- 2022年9月～10月にかけて、民地・街路空間を活用した賑わい施策「カミハチキテル3」を実施し、街なか回遊を促すための滞留拠点「ツカノマテラス」を期間限定で整備。
- 開催後、シティダッシュボードにより対象期間におけるエリアの来訪者の特性を確認。

滞在マップ (エリア選択)



12. データ活用事例の紹介

- 「カミハチキテル3」開催期間（平日）のエリア来訪者特性と前後期間の来訪者特性を比較すると、「30代が多い」、「12～14時台、17時台の来訪者が多い」といった特性がある。

対象エリア（八丁堀・鉄砲町）の来訪者特性（平日）

① 2022/7/1～2022/8/31（開催期間前）



② 2022/9/1～2022/10/31（開催期間）



③ 2022/11/1～2022/12/18（開催期間後）



12. データ活用事例の紹介

- 「カミハチキテル3」開催期間（休日）のエリア来訪者特性と前後期間の来訪者特性を比較すると、「30代が多い」、「8～9時台の来訪者が多い」といった特性がある。
- これらの特性はまちづくり団体の担当者が現場で把握した来訪者の特性に合致していた。

対象エリア（八丁堀・鉄砲町）の来訪者特性（休日）

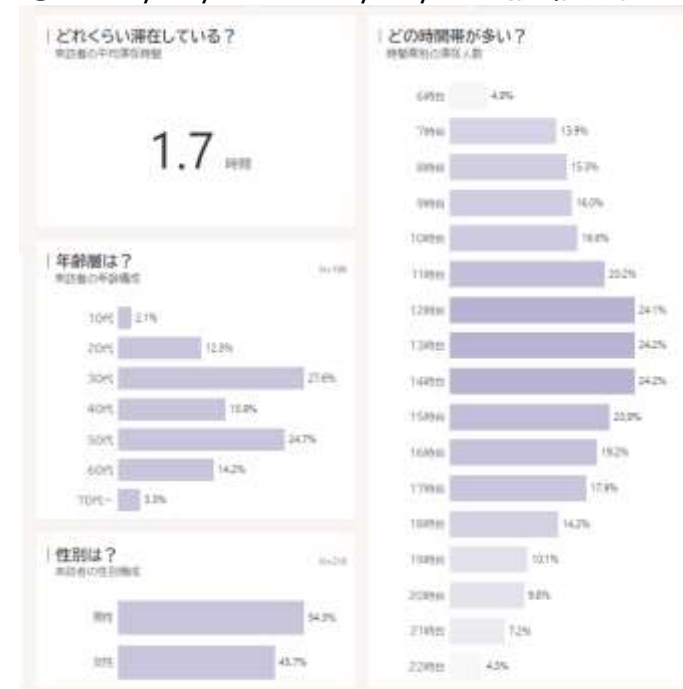
① 2022/7/1～2022/8/31（開催期間前）



② 2022/9/1～2022/10/31（開催期間）



③ 2022/11/1～2022/12/18（開催期間後）



13. 今後について

- 様々な媒体で取組内容が紹介され、そのタイミングで一時的に本サービスの利用者は増えているが、継続的な利用には至っていないことから、今後も活用方法等を含めた情報発信を行っていく必要がある。
- 本サービスの効果検証や地域のデータ活用ニーズを踏まえ、対象地域の拡大や各種機能の充実などを検討する予定である。
- 今回の取組をきっかけに、地域全体でデータ利活用が推進されるとともに、市民・企業・まちづくり団体、行政など多様な主体が一体となってまちづくりを行うための連携の基盤になることを期待する。